

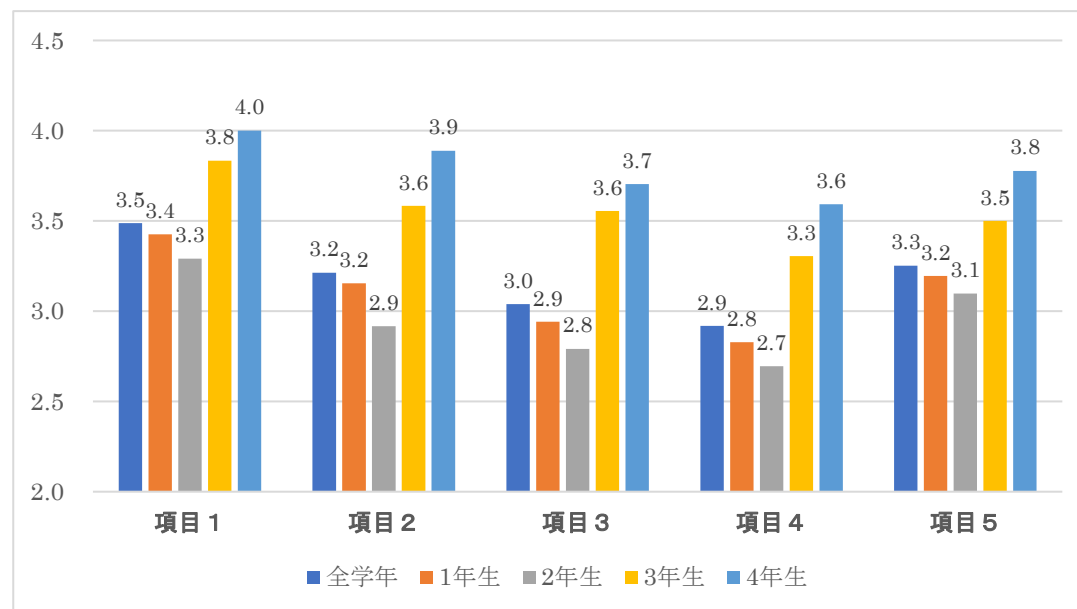
2019年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 社会福祉学科

教育課程の編成・実施の方針に掲げている(1)～(5)の項目について、5段階ルーブリック評価で評価した。（回答者数 305：1年生 170、2年生 72、3年生 36、4年生 27）



<教育課程編成・実施の方針>

- (1) 学習を通して、他者を尊重する態度を身につける
- (2) 利用者の多角的理解に努められるような学修
- (3) 現代の福祉環境を多角的・多面的に理解できるような学修
- (4) ライフステージに応じた生活課題の発見と解決が主体的にできるようになるための学修
- (5) 自分の将来像を意識した履修コースを選択

全学年の平均値は項目間で開きがあり、3.5 から 2.9 であった。

全ての項目に共通して、1年生よりも2年生の評価が若干低く、3年、4年と学年が高いほうが評価が高くなっていた。回答者数に制限があるものの、全般的に高学年に移行するほど学びの姿勢が高まっていると考えられる。全学年でみたときに、項目3と4が他に比べて若干低い評価となっているが、これはより複雑な社会や個々人の生活状況への理解に向けた取り組みの難しさから、低学年の評価が低くなっていることが反映されている。4年間の学習を通じて、これらの学びの姿勢の向上に資する教育体制の充実に引き続き努めていく必要がある。